

澄ーディングニュース 24・4月号

介護保険を利用して住宅改修工事を行う内容の一つに浴室の出入口扉を、開扉から折扉に交換する工事があります。

その多くは、既存の扉を外して、既存のドア枠に新しい折扉・枠を取付けるものです。

手軽に行える工事であり浴室の出入の安全の確保・洗い場のスペースの確保に役立っています。しかしながら欠点もありまして、折扉のため、どうしても下側の枠にレールが必要なため、お宅によっては、2 cmぐらい段差が増えてしまいます。

場合によっては今まで段差が無かったのに折扉にするために段差が付く場合もありました。そこで提案があります！

YKKから発売されているリフォーム用商品「折戸Sタイプ」であれば、レールの部分の工夫により、段差が軽減されています。商品説明を添付いたしますので、ご興味のある方はご一報ください、商品説明にお伺いいたします。

それでは、ご用命お待ちしております。

(既存ドア枠の状態によっては取付不能の場合があります)